

JGN II イベント利用報告書

イベント番号：イベント-150

イベント名

JGN II ワークショップ（四国リサーチセンター）

イベント概要

情報ハイウェイ等の整備に伴い、教育機関におけるネットワーク利用が進みつつある。特に、単なるインターネットへのアクセスではなく、高校・小中学校など相互接続や遠隔教育などにおいて、様々な取組みが行われている。本ワークショップでは、このような教育の現場からの事例を紹介するとともに、その課題と今後のさらなる促進を図るための方策を議論した。

日程 2006年6月30日（金） 13:30-17:45

会場 高知医療センター くろしおホール（高知市池 2151 番地 1）

プログラム

1. 開会
2. 挨拶：四国総合通信局・局長 久保田誠之
3. リサーチセンターの研究紹介 13:40-14:45：
 - 13:40-13:50 JGN II の最新情報の紹介
嶋田昌行（情報通信研究機構テストベッド推進グループ）
 - 13:50-14:00 四国リサーチセンターの紹介
福本昌弘（四国リサーチセンター，高知工科大学）
 - 14:00-14:15 研究紹介「DV 伝送装置と音響測位」
都築伸二（愛媛大学・助教授，四国リサーチセンター・特別研究員）
 - 14:15-14:20 つくばリサーチセンターの最新情報
古賀達蔵（つくばリサーチセンター長）
 - 14:20-14:30 研究紹介「ミラーインターフェースとその応用」
細谷英一（NTT-MI 研，つくばリサーチセンター・特別研究員）
 - 14:30-14:45 研究紹介「多地点相互通信システム MidField System Ver.1.20」
【遠隔講演】
橋本浩二（岩手県立大学・助教授，東北リサーチセンター・特別研究員）
4. 講演 14:45-16:40：
 - 14:45-15:00 高知県新情報ハイウェイを用いた地域情報化
田村壮児（高知県情報基盤課・課長）
 - 15:00-15:20 四国における地域情報化の現状と課題
坂本世津夫（高知大学 国際・地域連携センター・生涯学習部門長）

- 15:20-15:40 工業系高等学校における IPv6 を用いたユビキタス社会実験研究
～平成 17 年度の研究成果～
渡辺健次（佐賀大学工学部・教授）
 - 15:40-16:30 教育現場における ICT 事情について 【遠隔講演・遠隔討論】
進行： 広岡淳二（九州リサーチセンター・特別研究員）
コメンテーター：
永井正直（（財）マルチメディア振興センター・技術調査部長）
竹内由佳（大分県日出町立日出小学校教諭） ※遠隔出演
杉下千昌（宮崎県西米良村立米良村所小学校教諭） ※遠隔出演
 - 16:30-16:40 イベントへのネットワーク利用の方法と効果
広岡淳二（九州リサーチセンター・特別研究員）
山内一郎（大手町リサーチセンター・特別研究員）
5. パネルディスカッション 16:50-17:40：
- パネリスト：
- 田村壮児、都築伸二、永井正直、広岡淳二、山内一郎、渡辺健次、
澤田努（高知医療センター地域医療科）
- コーディネータ：
- 山崎克之（長岡技術科学大学・教授）
- 討論内容：
- 教育現場などでのネットワークの利活用を続けるための方策 他
6. 閉会

主催 独立行政法人情報通信研究機構 四国リサーチセンター

後援 総務省四国総合通信局, 高知 JGN II 利用連絡会, JGN II 四国連絡協議会

協力 NTT コミュニケーションズ株式会社, 日立電線株式会社

その他

本ワークショップは、高知県新情報ハイウェイと JGN II を通して配信された。

- JGNv6 マルチキャストにて DVTS 配信
- 東北大学 林 優一氏のご協力により、wmt の試験映像を配信
(<mms://wms.topic.ad.jp/jgn2ws2006>)

イベント参加者数（会場） 127 名

JGNv6 受信アクセスポイント 東北大学, 東京大学, 岐阜, 名古屋大学, 広島大学, 徳島大学, 九州大学, 鹿児島

実施の様様



来賓挨拶 (久保田 四国総合通信局長)



講演の様様 (古賀 つくばリサーチセンター長)



東北リサーチセンターからの遠隔講演
(東北リサーチセンター 橋本 特別研究員)



遠隔討論
(大分県、宮崎県の小学校から遠隔出演)



パネルディスカッション



JGNv6 配信聴講の様様 (徳島大学工学部)

JGN II 接続概念図

